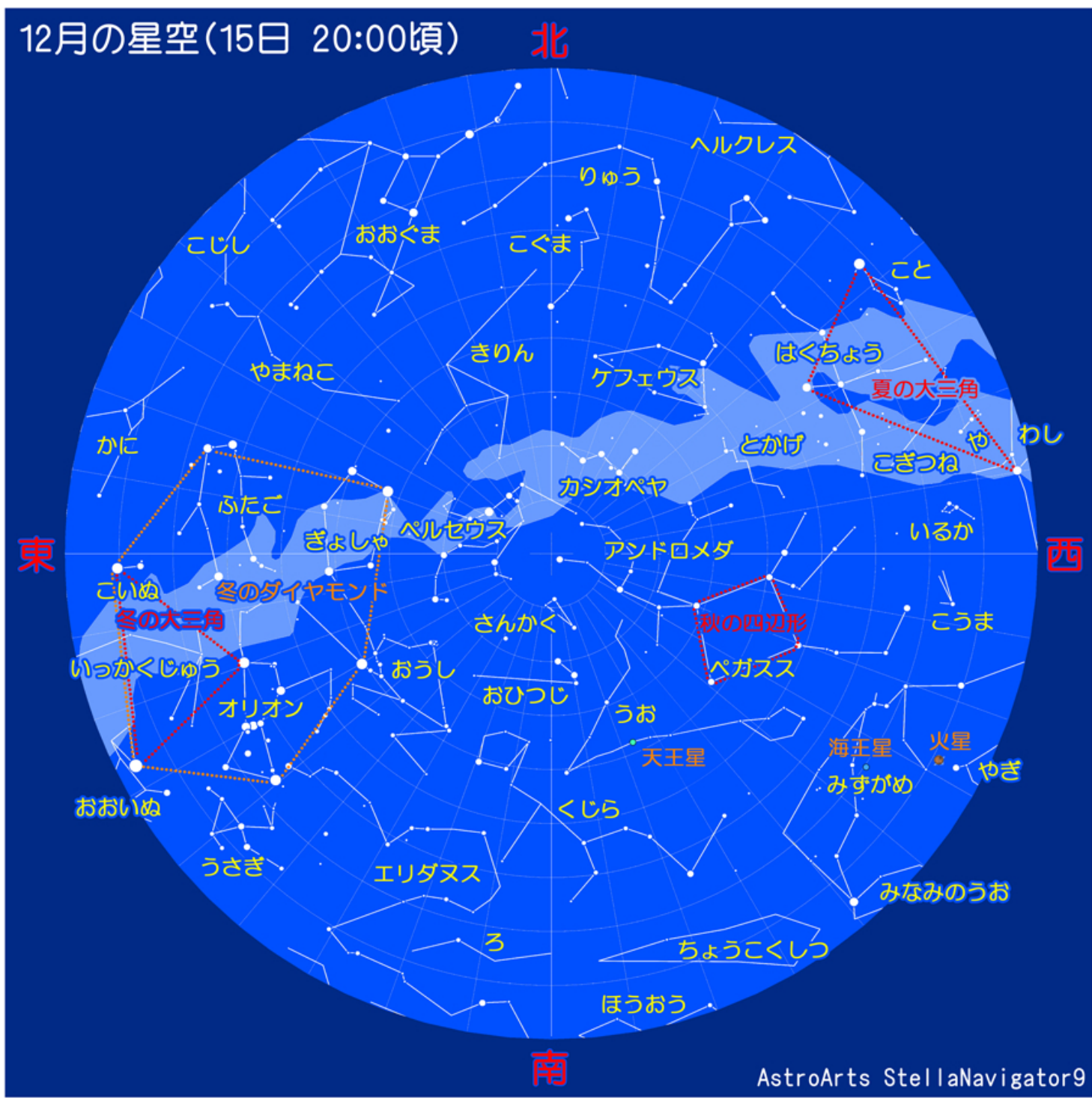




今日のイチオシ！

☆M37 (散開星団)

ぎょしゃ座にはメシエナンバーのついた散開星団が3つありますが、その中で一番南に位置しているのが、このM37です。

りくり望遠鏡では微光星が密集し星々があふれるように見える様子がとても見事です。視野からはみ出してしまっています。15cm双眼鏡でも星々が密集している様子を確認することができます。



M37

月

出 没

7日 上弦 11:41 23:18
14日 満月 16:23 06:28
21日 下弦 23:48 11:37
29日 新月 06:21 16:13

天文台から月を見ることができるのは1～16日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

天王星・海王星

太陽系の外側から2つの惑星、天王星と海王星が見頃を迎えています。天王星はグリーンっぽく、海王星はブルーっぽく見えるのが印象的です。

太陽からの距離
天王星：約29億km
海王星：約45億km

ふたご座流星群

三大流星群のひとつ、ふたご座流星群が12月14日に極大を迎えます。今年は月明かりの影響が大きいいため例年よりも見られる流星の数は少なく、極大のところで1時間に30個程度の流星が観察できるのではと予測されています。

M45 (プレアデス星団)

日本では「すばる」とも呼ばれています。約100個の若い星からなる星団で、双眼鏡の視野に広がる姿は宝石箱のようです。枕草子の「星はすばる」と書かれているほど、古くから親しまれてきた天体です。

距離：約410万光年

M1 (超新星残骸)

おうし座にある星雲で、「かに星雲」と呼ばれています。M1は1054年に出現した超新星の残骸で、このときの超新星爆発は、日本でも「明月記」に記録が残っています。

距離：約7200光年

アルマク (重星)

色違いの重星としては、はくちょう座のアルビレオが有名ですが、アンドロメダ座のアルマクも美しさでは負けていません。青とオレンジ色の星が寄り添う姿がとても綺麗です。

距離：約394光年

ガーネットスター (恒星)

ケフェウス座にある恒星で、非常に赤い色をしていることから、ウィリアム・ハーシェルにより「ガーネットスター」と名づけられました。もうじき寿命を迎えようとしている、赤色超巨星のひとつです。

距離：約5260光年

ちょっとマニア

・NGC1535 (惑星状星雲)
エリダヌス座にある惑星状星雲で、「クレオパトラの瞳」という愛称を持っています。エメラルドのような色が美しく、同心円状の構造を見ることができます。

距離：約2150光年

その他おすすめ

- ・M35 (散開星団)
- ・M42 (散光星雲)
- ・M76 (惑星状星雲)
- ・NGC1514 (惑星状星雲)
- ・NGC2392 (惑星状星雲)
- ・カペラ (恒星)
- ・アルデバラン (恒星)

12・1月の銀河の森天文台カレンダー

12月							1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				

開館時間

14:00～22:30
(4月～9月)
13:00～21:30
(10月～3月)

休館日